

① 県内読書環境の整備

平成22年4月1日現在

■「県外図書館派遣研修事業」は3回目の派遣。館内サービスと市町村支援の「循環」創出。

事業目標		年度					備考	
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度		25年度
a. 当事業に係る基盤（インフラ）整備・環境醸成								
1	物流システムを整備する	実施	→	効果検証			<ul style="list-style-type: none"> <li>■県内市町村の図書館向けは完璧と言っていない状態である。</li> <li>■四国の他3県立図書館との定期便化も軌道に乗ってきた。</li> <li>■図書館未設置地域に子どもの読書活動支援員が派遣され、そこへの協力貸出が増加した。</li> </ul>	
2	事業の目的達成に必要なIT環境を整備する	メルマガの発行とMLの開設		→	効果検証		<ul style="list-style-type: none"> <li>■メルマガ、メーリングリストの開設には至っていない。</li> <li>■市町村図書館職員や子ども読書活動推進支援員の相談やレファレンスにメールで応じたり、こちらから情報提供を個々に行った。</li> <li>■県庁の全庁向けメールを県政課題と関連させて発信した。</li> </ul>	
3	県内図書館職員の研修を進める。「県外図書館研修派遣事業」で派遣された職員による研修報告会（於：高知県図書館大会・市町村図書館等研修会）を開催する。			→	効果検証		<ul style="list-style-type: none"> <li>■「県外図書館研修派遣事業」を実施した。（高知県図書館協会との連携）</li> <li>●宿毛市立坂本図書館職員の派遣</li> <li>・著作権実務講習及び岡山市立幸町図書館視察に派遣した。</li> <li>●佐川町立図書館職員の派遣</li> <li>・障害者サービス講座及び枚方市立中央図書館、東近江市立図書館視察に派遣した。</li> <li>●両館職員による報告会</li> <li>・先進的な県外図書館の取り組みを県内図書館職員で情報共有した。</li> </ul>	
4	事業の目的達成に必要な啓発活動を実施する			→	効果検証		<ul style="list-style-type: none"> <li>■NHK「高知情報BOX」の「のほほんBooks」のコーナーで季節にかかったテーマで県立図書館の本を紹介し図書館利用をPRした。</li> <li>■「龍馬伝」を意識したものも入れた。</li> </ul>	
5	県内図書館への協力レファレンス体制を整備する			→	効果検証		<ul style="list-style-type: none"> <li>■協力レファレンスの様式を定め、手軽に利用できるようにした。</li> </ul>	
6	県内図書館利用者のリクエストとそれに伴う相互貸借を活性化させる	実施	→	効果検証			<ul style="list-style-type: none"> <li>■来館者に対してリクエスト・サービスを積極的に伝えた。</li> <li>■マスコミ等も活用し、さらに積極的にPRしていきたい。</li> <li>■資料費を確保したうえで、市町村立図書館からの協力貸出要請にも積極的に応えていきたい。</li> </ul>	
b. 当事業の目的達成する方法								
1	移動図書館を巡回させる	実施				→	効果検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>■21年4月から委託業務となったが、実施状況は良好だった。</li> <li>■21年度は学校の夏休み期間中にバスを利用して市町村12会場で頒布会や見計らいによる選書会を実施した。</li> </ul>
2	県内図書館に対し、物流システムを活用して読書環境整備に係る事業を実施する	実施	→	効果検証			<ul style="list-style-type: none"> <li>■「健康づくり」に関してブックリストを作成し、HPにも掲載した。</li> <li>■館内で行った資料展示を希望する県内市町村図書館等に展示図書と一緒に貸出した。</li> <li>■補正予算により購入した新書等を市町村図書館等に対して長期貸出を実施している。（平成21年12月から開始）</li> </ul>	
3	「対面音訳」とともにその他の障がい者サービスにも取り組む	実施			→	効果検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「宅配貸出サービス」の21年度実績は以下のとおりである。</li> <li>・登録者数20人、貸出冊数は329冊。（貸出冊数は前年比113%となった。）</li> <li>■障がい者サービス機器の利用促進及び著作権法改正に伴う障がい者サービスの拡充が今後の課題である。</li> </ul>	
4	重点的に支援する市町村を設定し、物的・人的支援を傾斜配分する	いの・安芸中間評価					<ul style="list-style-type: none"> <li>■室戸中間評価</li> </ul> <p>図書館（室）の現状把握のため県内を巡回した。支援要請に応じて人的支援を実施した。（21年度40回）。重点支援の中間評価は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■安芸市 <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉保健所主催の「安芸地区子育て支援事業」に食育関連等を安芸市民図書館と県立図書館が団体貸出をして協力した。ボランティアや保育士に読み聞かせの講習会も実施した。一定の効果があつたので継続に向けて働きかける。</li> </ul> </li> <li>■いの町 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県外町立図書館の中古移動図書館の譲渡を仲介し、合併で広がった町の読書活動推進に協力した。移動図書館の利用促進も含めて支援継続する。</li> </ul> </li> </ul>	
5	学校図書館（室）を支援する	実施	→	効果検証			<ul style="list-style-type: none"> <li>■学校からの要望に応じ読み聞かせやブックトークの実地講習を実施した。</li> <li>■学校図書館の運営や書架レイアウト変更等のアドバイスを行った。</li> </ul>	
c. 当事業遂行のための環境醸成								
1	資料展示、その他の関連事業を実施する			→	効果検証		<ul style="list-style-type: none"> <li>■健康、就職などニーズの高いテーマを選び資料展示を実施した。</li> <li>■展示終了後は市町村立図書館等に展示図書の貸出をした。</li> <li>■NHK「龍馬伝」の放送に合わせて龍馬関連の展示資料を更新している。</li> <li>■「相互交換観光展示」を新宿区・鎌倉市・福山市・長崎県・福井県・愛媛県・愛知県の各図書館と実施した。</li> <li>■四万十川の本支流域に伝わる雛人形を紹介をする展示を実施した。（2月）</li> </ul>	
2	事業の遂行に必要な県立図書館職員の研修を進める	実施	→	効果検証			<ul style="list-style-type: none"> <li>■滋賀県立図書館、愛荘町・東近江市の図書館を視察研修に派遣した。（H22.1月）</li> <li>■「ビジネス・ライブラリアン講習会」に派遣した。（H22.2月）</li> </ul>	
3	関連機関との連携			→	効果検証		<ul style="list-style-type: none"> <li>■高知県図書館協会との連携による「県外図書館研修派遣事業」を実施した。</li> <li>■研修報告会を実施し県内図書館職員で情報を共有した。</li> </ul>	
総評	<p>①市町村支援の軸は「人的支援」。「県外図書館研修派遣事業」の本格実施と合わせてマスコミ等でPRを図りたい。</p> <p>②「県外図書館研修派遣事業」については、引き続き、職員数の少ない市町村立図書館からも参加できるような方策を考える。</p> <p>③館内での展示終了後、展示を本ごと市町村立図書館に貸出す等、館内サービスと市町村支援の「循環」を創り出すよう留意する。</p>							

② 地域活性化支援

■「龍馬伝」後も視野に入れ、「相互交換観光展示」を多方面に展開。

事業目標		年度					備考	
a - 1. 当事業の目的を達成する方法 (商工・観光業・地場産業支援)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度		25年度
1	商工・観光業・地場産業等に携わっている人の資料・情報ニーズを調査する	取り組み開始					効果検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>体系的なニーズ調査には至っていない。</li> <li>人からの情報収集に努める。</li> <li>職員が「経営革新フォーラム」等に参加した。</li> </ul>
2	商工・観光業・地場産業等に携わっている人の必要とする資料・情報を収集し提供する	弱い面を強化		効果検証				<ul style="list-style-type: none"> <li>22年度当初予算の資料費を要求した。(増額)</li> <li>必要性の高い分野をリストアップし、予算増額要求資料を作成した。(観光及び観光学、地域づくり等)</li> </ul>
3	上記の資料・情報提供に際して、必要なレファレンスサービスを行なう			効果検証				<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者から要望があれば随時対応した。</li> </ul>
4	商工・観光業・地場産業等に携わっている人の仕事の参考になるセミナー・講演会を開催する			効果検証				<ul style="list-style-type: none"> <li>平成21年度は開催できなかった。</li> </ul>
a - 2. 当事業の目的を達成する方法 (人づくり)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	備考
1	人づくりに関する事業を企画・立案し、実施する	企画立案・実施		効果検証				<ul style="list-style-type: none"> <li>必要性の高い分野の資料収集に努める。</li> <li>資料展示等、提供方法を工夫する。</li> </ul>
2	人づくりに必要な資料・情報・その提供方法を検討し、実施する	企画立案・実施		効果検証				<ul style="list-style-type: none"> <li>資料・情報提供を充実させるには、資料費の増額等、予算的な裏付けが不可欠である。(22年度以降)</li> </ul>
a - 3. 当事業の目的を達成する方法 (当事業に関連するPR)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	備考
1	県内の商業施設や観光スポットを紹介したパンフレットを収集し館内で配布する	実施	効果検証					<ul style="list-style-type: none"> <li>「相互交換観光展示」の恒常化を進めていく。新宿区・鎌倉市・福山市・長崎市・福井県・愛媛県・愛知県と実施した。</li> <li>展示を見た人が四万十川を見に来高した。</li> </ul>
2	地場産品のPRパンフレットを収集し館内で配布する	実施	効果検証					<ul style="list-style-type: none"> <li>『ちやお高知』や絵金蔵のパンフレットを区立図書館等、首都圏の図書館数館で配布した。</li> </ul>
b. 当事業遂行のための環境醸成		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	備考
1	事業の目的達成に必要なIT環境を整備する		実施				効果検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞記事データベースの提供を開始する。</li> <li>高知新聞データベース・サービスを開始した。(平成22年3月開始)</li> <li>必要な情報収集に役立てて欲しい。</li> </ul>
2	資料展示、その他の関連事業を実施する	実施		効果検証				<ul style="list-style-type: none"> <li>「龍馬伝」関連事業を実施する。</li> <li>郷土、観光、時事、県政課題、他機関等との連携、子どもの本等各种を展示した。</li> </ul>
3	関連機関の支援	実施		効果検証				<ul style="list-style-type: none"> <li>高知県観光コンベンション協会を応援する。(継続)</li> </ul>
4	事業の遂行に必要な県立図書館職員の研修を進める		実施	効果検証				<ul style="list-style-type: none"> <li>「ビジネス・ライブラリアン講習会」に派遣した。(2月)</li> </ul>
5	関連機関との連携				効果検証			<ul style="list-style-type: none"> <li>NHK「龍馬伝」の放送に合わせ龍馬関連の展示資料を更新した。</li> <li>「こうちミュージアム・ネットワーク」参加館等とも協力をした。</li> <li>文化施設へ誘客するような展示内容にする。</li> <li>全国の図書館と協力し「相互交換観光展示」を実施した。</li> <li>仁淀川町の武田勝頼キャラクター候補の展示・投票を実施した。</li> </ul>
総評	<p>①「相互交換観光展示」が定着し多方面に展開中。観光パンフ等、県外図書館に送る「コンテンツ」をさらに充実させたい。</p> <p>②資料費増額による資料充実是最優先事項。図書館の設置目的の実現には不可欠である。</p> <p>③「龍馬伝」後も睨んだ時、「観光振興により実現すべきこと(観光振興の目的)」を県立図書館として主体的に考えていく必要がある。</p>							

③ 政策立案支援

■県・市町村の職員に図書館を活用してもらうため様々な取り組みを展開。新聞記事DBも導入。(22年3月)

事業目標		年度						
a. 当事業の目的を達成する方法		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	備考
1	世の中の動きを常にウォッチしておく							<ul style="list-style-type: none"> <li>■資料展示やブックリストの作成を実施した。</li> <li>●新型インフルエンザ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・報道開始直後から迅速・機敏に対応。展示は継続、リストは随時更新した。</li> <li>●県政課題への対応                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり、就職・就業支援をテーマに取り上げた。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>■県立図書館HPに新ページを開設した。</li> <li>・医療・健康情報、国民読書年、図書館海援隊の各ページを開設した。</li> <li>■時事的なテーマには機敏に反応し、状況の変化にも対応できている。</li> </ul>
2	半歩先を読んだ資料収集を心がける	実施		効果検証				
3	半歩先読みのブックリスト作成で役立つ資料を提供していく	実施		効果検証				
b. 当事業遂行のための環境醸成		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	備考
1	事業の目的達成に必要なIT環境を整備する	実施		効果検証				<ul style="list-style-type: none"> <li>■新聞記事データベースの提供を開始する。</li> <li>・高知新聞データベース・サービスを開始した。(平成22年3月開始)</li> <li>・公務に必要な情報収集に役立てて欲しい。</li> <li>■新型インフルエンザ関連                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・BCP等事業所での対策も視野に入れた資料を展示した。</li> </ul> </li> <li>■産業振興計画関連                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・関連図書、パンフレット等を展示した。</li> </ul> </li> <li>■「学力向上」関連                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・補正予算で教育技術書をまとめて購入し、展示・貸出をした。</li> <li>■「龍馬伝」関連                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・龍馬関係図書の展示・貸出をした。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>■「ビジネス・ライブラリアン講習会」に派遣した。(2月)</li> <li>・当事業に役立つことが期待できる。</li> </ul>
2	資料展示、その他の関連事業を実施する			効果検証				
3	事業の遂行に必要な県立図書館職員の研修を進める		随時実施					
総評	①補正予算で購入した「教育技術書」の利用が盛んである。 ②その他の分野でも補正予算によって新着資料が増加。盛んに貸出しされている。 ③できるだけ迅速・機敏な対応に心がけた。この姿勢はこれからも維持したい。							

④ 起業・創業支援

■資料充実が最優先課題。新聞記事DBの利用促進も図りたい。

事業目標		年度						
a - 1. 当事業の目的を達成する方法(起業・創業支援)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	備考
1	県内の起業・創業の動向を調査する	調査研究						<ul style="list-style-type: none"> <li>■アンケート調査結果を資料選定に活用する。</li> <li>・体系的なニーズ調査はできなかった。</li> <li>・「創業支援セミナー」(平成20年度)の受講者にアンケートを実施した。</li> <li>・「広告」「宣伝」への高い資料・情報ニーズの存在が判明した。</li> <li>■調査結果を、それまで購入できなかった資料の選定にも活用する。</li> <li>・デザイン関係図書の選定に活用した。</li> <li>・ウェブデザイン、プログラミング言語等も意識して選定した。(ヤマキン・ライブラリーの蔵書構成に反映)</li> <li>■21年度は開催できなかった。</li> <li>■両方とも21年度には開催できなかった。</li> <li>■引き続き、実施方法について検討する。</li> <li>・図書館資料の活用結び付けることが肝要である。</li> </ul>
2	県内で起業・創業を考えている人の資料・情報ニーズを調査する	アンケートを実施	調査結果を資料選定に活用	他の調査方法も検討				
3	県内で起業・創業を考えている人の必要とする資料・情報を収集し提供する		調査結果を資料選定に活用	効果検証				
4	上記の資料・情報提供に際して、必要なレファレンスサービスを行なう	調査研究	調査研究	調査研究				
5	県内で起業・創業を考えている人の参考となるセミナー・講演会を開催する	実施	未実施					
a - 2. 当事業の目的を達成する方法(経済・起業教育)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	備考
1	小中高校生を対象として経済教育等の講座を開催する	実施予定		効果検証				<ul style="list-style-type: none"> <li>■両方とも21年度には開催できなかった。</li> <li>■引き続き、実施方法について検討する。</li> <li>・図書館資料の活用結び付けることが肝要である。</li> </ul>
2	県内大学生を対象とした講座を企画する	調査研究	実施		効果検証			
b. 当事業遂行のための環境醸成		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	備考
1	事業の目的達成に必要なIT環境を整備する		実施		効果検証			<ul style="list-style-type: none"> <li>■新聞記事データベースの提供を開始する。</li> <li>・高知新聞データベース・サービスを開始した。(平成22年3月開始)</li> <li>・必要な情報収集に役立てて欲しい。</li> <li>■起業関係の図書を展示した。(就職支援関連図書の展示の中で)</li> <li>■新制度になった情報処理試験の関連資料を展示した。</li> <li>■「ビジネス・ライブラリアン講習会」に派遣した。(2月)</li> <li>・当事業に役立つことが期待できる。</li> <li>■「経営革新フォーラム」で展示した。</li> </ul>
2	資料展示、その他の関連事業を実施する	実施			効果検証			
3	事業の遂行に必要な県立図書館職員の研修を進める		実施	効果検証				
4	関連機関との連携	実施予定	実施	効果検証				
総評	①補正予算によって新着資料が増加。盛んに貸出しされている。資料費の重要性を再認識している。 ②「ビジネス・ライブラリアン講習会」に職員を派遣する。県立図書館の目的を実現するための「人的基盤」を着実に固めていく。 ③高知新聞データベース・サービスの利用促進を図りたい。							

⑤ 若者就業支援

■雇用・就職環境などの変化に合わせた取り組みを行う。

事業目標		年度					備考	
a. 当事業の目的を達成する方法	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度		
1	県内の若者就業の実態を調査する	実施		→	効果検証		■マスコミ報道等を参考にしている。	
2	支援対象者の資料・情報ニーズを調査する	ジョブコーナー充実		→	効果検証		■「ジョブカフェこうち」との協働を検討中である。 ・「ジョブカフェこうち」利用者へのアンケート調査により県立図書館への資料・情報ニーズを知る。(検討中)	
3	支援対象者の必要とする資料・情報を提供する	実施		→	効果検証		■無料就職情報誌を配布した。 ・「ジョブカフェこうち」発行の無料就職情報誌『明日』を配布している。 ・その他の就職情報も館内で配布している。 ■派遣村発行のパンフレットも取り寄せ、配布した。	
4	上記の資料・情報提供に際して、必要なレファレンスサービスを提供する	調査研究					■資格取得関連の図書を新規購入し貸出している。また、出版社(東京LEC)から寄贈があった。	
5	支援対象者の参考となるセミナー・講演会を開催する	未実施	未実施	実施	→	効果検証	■21年度は「就活支援セミナー」を開催できなかった。 ■22年度は開催したい。	
b. 当事業遂行のための環境醸成		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	備考
1	事業の目的達成に必要なIT環境を整備する		実施		→	効果検証		■新聞記事データベースの提供を開始する。 ・高知新聞データベース・サービスを開始した。(平成22年3月開始) ・面接試験対策等、情報収集に役立てて欲しい。
2	資料展示、その他の関連事業を実施する	実施		→	効果検証			■雇用・就職環境などの変化に合わせ、随時、追加の展示を実施したい。 ・関係機関とも連携し、情報交換しながら実施していく。
3	関連機関の支援、関連機関との連携	実施		→	効果検証			■雇用労働政策課や「ジョブカフェこうち」と連携し、協力した。 ・県立図書館トップページに「高知しごとネット」をリンクした。 ・スキルアップ、資格取得に役立つ資料の積極的な提供をした。
4	事業の遂行に必要な県立図書館職員の研修を進める	調査研究	調査研究	調査研究	調査研究			■予算措置がなくても可能なものは随時開始した。
総評	①補正予算で、就職、資格取得に役立つ図書等も数多く購入してきた。新着図書コーナーからよく借りていかれる。 ②雇用労働政策課の「高知しごとネット」とのリンクを県立図書館HPのトップに張った。 ③補正予算により資料費の重要性を再認識している。							

⑥ 健康生活支援

■健康情報サービス担当の司書が関連資料を展示し、ブックリスト作成。展示を市町村立図書館に本ごと貸出。

事業目標		年度					備考	
a. 当事業の目的を達成する方法	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度		
1	図書館による健康情報提供を目指す専門団体から情報収集しサービス内容を検討する		本格実施	効果検証			■担当職員を配置した。 ・21年度、初めて健康情報サービス担当職員を配置した。 ■担当職員による取り組みは以下のとおりである。 ・資料を展示した。 ・ブックリストを作成した ・県立図書館HP内に医療・健康情報を新規開設した。	
2	上記検討により支援対象と範囲を確定し情報ニーズを調査する		本格実施	効果検証			■研修経費の予算確保が課題である。 ・担当職員は、東京で行われている日本病院患者図書館協会主催の研修会「患者図書館養成講座」に休日を利用しての自主参加であり、研修経費の予算確保が課題である。(他のサービスに必要な研修でも)	
3	支援対象者の必要とする資料・情報を提供する		本格実施	効果検証			■長期目標に組み込まれており開催に向けて準備をしていく。 ■高知県図書館関係者の集い(2月15日)で当館の取り組みについて発表した。	
4	上記の資料・情報提供に際して、必要なレファレンスサービスを行なう			→	効果検証			
5	支援対象者の参考となるセミナー・講演会を開催する		実施	→	効果検証			
b. 当事業遂行のための環境醸成		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	備考
1	事業の目的達成に必要なIT環境を整備する		実施	効果検証				■この事業に関連するデータベースの導入はない。 ■県立図書館HP内に医療・健康情報を新規開設した。
2	資料展示、その他の関連事業を実施する			→	効果検証			■健康づくり、メンタルヘルス、高齢者向け展示にも取り組む。 ■補正予算により蔵書をリニューアル・増強した。
3	関連機関の支援			→	効果検証			■企画展示等で障害福祉課・健康づくり課(当時)と連携・支援した。
4	事業の遂行に必要な県立図書館職員の研修を進める			→	効果検証			■研修経費の予算確保が課題である。 ・職員の自主研修への過度の依存は好ましくない。改善が必要である。
5	関連機関との連携			→	効果検証			■医療センター「なるほどライブラリー」と引き続き連携して行く。
総評	①補正予算によって医療・健康関係の新着資料が増加。利用者の関心の高まりを感じる。資料費の重要性を再認識している。 ②館内での展示終了後、展示を本ごと市町村立図書館に貸出す等、館内サービスと市町村支援の「循環」を創り出すよう留意する。 ③ブックリストを多数作成した。							

⑦ 郷土・行政資料の整備・充実と利用促進

■「龍馬伝」に関連し、「こうちミュージアム・ネットワーク」参加館への誘客促進を狙った展示を実施。

事業目標		年度						備考
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
a. 当事業の目的を達成する方法								
1	郷土・行政資料の収集ルート の確立とそれに即した収集を 実施する	実施			効果検証			■実施済みだが、21年度は収集が難しくなっている。 ■県立図書館だけでは限界がある。全庁的な取り組みが必要である。
2	収集した郷土・行政資料の保 存・提供方法を確立する	実施			効果検証			■郷土の作家の小説等を移動した。 ・郷土資料コーナーから一般開架へ移動した。 ・よく利用されるようになってきている。
3	上記に即したデータ整備方法 を確立する	調査研究	調査研究	調査研究	調査研究			■調査研究する必要がある。 ・視察研修先としては、先進的な取り組みをしている小平市中央図書館 が相応しいと考える。
4	他事業との関連付けによる郷 土・行政資料のPRと利用促 進のための事業を実施する	実施			効果検証			■『土佐國群書類従』販売促進のための講演会を実施した。(H21.5月) ■「龍馬伝」関連の展示を実施した。 ■「相互交換観光展示」では「高知との接点」を強調する。 例) ・新宿区立図書館との交換展示では寺田寅彦 ・鎌倉市中央図書館との交換展示では横山隆一 など。
b. 当事業遂行のための環境醸成								
1	事業の目的達成に必要なIT 環境を整備する		実施			効果検証		■新聞記事データベースの提供を開始した。 ・高知新聞データベース・サービスを開始した。(平成22年3月開始) ・必要な情報収集に役立てて欲しい。
2	資料展示、その他の関連事業 を実施する				効果検証			■NHK「龍馬伝」の放送に合わせ龍馬関連の展示資料を更新している。 ■「こうちミュージアム・ネットワーク」参加館等とも協力した。 ■それらの文化施設へ誘客するような展示内容である。 ■全国の図書館と協力し「相互交換観光展示」を実施した。 ■仁淀川町の武田勝頼キャラクター候補の展示・投票を実施した。
3	関連機関との連携事業の実施				効果検証			■関連団体との連携事業を継続して行く。 ・「高知城友の会」「こうちミュージアムネットワーク」参加館と連携 事業を継続する。 ・「龍馬伝」関連で「こうちミュージアムネットワーク」と連携を強化 していく。(22年度)
4	関連機関の支援				効果検証			■NHK「龍馬伝」の放送に合わせ龍馬関連の展示資料を更新した。 ■「こうちミュージアム・ネットワーク」参加館等とも協力した。 ■それらの文化施設へ誘客するような展示内容である。
5	事業の遂行に必要な県立図書 館職員の研修を進める				効果検証			■館内研修の充実を図る。 ・県立図書館の周囲にある史跡を郷土資料担当職員が他の職員に解説を した。
6	関連機関との連携				効果検証			■継続的な観光振興に布石を打つ。 ・「相互交換観光展示」等で継続的な観光振興に貢献する。 ・交流人口の増加による本県への移住者増を目指したい。
総評	①「龍馬伝」に関連し、「こうちミュージアム・ネットワーク」参加館への誘客促進を狙った展示を実施した。 ②隣接する県立文学館とは特に密接に連携した。 ③「相互交換観光展示」が多方面に展開され定着してきた。「龍馬伝」後を睨み、今後も継続していきたい。							

① 県内読書環境の整備

■「県外図書館派遣研修事業」は2回目の派遣。館内サービスと市町村支援の「循環」創出。

- (1) 図書館未設置地域に配置された子ども読書活動支援員の活動により、同地域への協力貸出が増加している。
- (2) 資料物流については、四国の他3県立図書館との定期便化が軌道に乗ってきた。
- (3) 宿毛市立坂本図書館に引き続き、佐川町立図書館の職員を県外の図書館に派遣した。(12月)

② 地域活性化支援

■「龍馬伝」後も視野に入れ、「相互交換観光展示」を多方面に展開。

- (1) 「相互交換観光展示」が恒常化。多方面に展開中。展示を見て来高した人もいた。
- (2) 資料費増額が最重要課題であり、図書館を挙げて取り組んだ。
- (3) 山本貴金属地金株式会社様より今年度も「ふるさと納税」により寄付があり、「ヤマキン・ライブラリー」の充実を図った。

③ 政策立案支援

■県・市町村の職員に図書館を活用してもらうため様々な取り組みを展開。新聞記事DBも導入。(22年3月)

- (1) 補正予算で「教育技術書」を購入した。
- (2) 新型インフル関係では、BCP等事業所での対策も視野に入れた資料展示を実施した。
- (3) 高知新聞データベース・サービスを導入する。(平成22年3月開始)

④ 起業・創業支援

■資料充実が最優先課題。新聞記事DBの利用促進も図りたい。

- (1) 補正予算によって関連資料を購入した。
- (2) 「ビジネス・ライブラリアン講習会」に派遣する。(2月)県立図書館の人的基盤強化を図る。
- (3) 山本貴金属地金株式会社様より今年度も「ふるさと納税」により寄付があり、「ヤマキン・ライブラリー」の充実を図った。

⑤ 若者就業支援

■雇用・就職環境などの変化に合わせた取り組みを行った。

- (1) 無料の求人情報誌だけではなく、「派遣村」発行のパンフレットも取り寄せて配布した。
- (2) 山本貴金属地金株式会社様より今年度も「ふるさと納税」により寄付があり、「ヤマキン・ライブラリー」の充実を図った。
- (3) 企画展示「広がる未来への雇用不安 自己研鑽で働く場の確保を！」を5月から随時実施している。

⑥ 健康生活支援

■健康情報サービス担当の司書が関連資料を展示しブックリスト作成。展示を市町村立図書館に本ごと貸出。

- (1) 展示を本ごと市町村立図書館に貸出し、館内サービスと市町村支援の「循環」を創り出すよう留意する。
- (2) 県立図書館HP内に医療・健康情報ページを新規開設した。
- (3) 企画展示等で障害福祉課・健康づくり課と連携し、支援した。

⑦ 郷土・行政資料の整備・充実と利用促進

■「龍馬伝」に関連し、「こうちミュージアム・ネットワーク」参加館への誘客促進を狙った展示を実施。

- (1) お隣の県立文学館とは特に密接に連携した。
- (2) 「相互交換観光展示」が多方面に展開され定着してきた。
- (3) 研修会に参加し、郷土・行政資料の分類・整理・活用方法について改善の必要性を感じた。